



板橋区議会議員

区政報告レポート▶▶▶ 2016年9月発行

山田たかゆき



ホームページ・リニューアル



スマートフォンでも見やすいように、ホームページをリニューアルしました。ブログ（日々の活動報告）に加えて、議会活動の動画もご覧いただけるようになりました。下記のタイトルの実績報告も内容を更新しています。

- Vol.21 中台地域・防犯カメラの設置 / Vol.22 徳丸ヶ原野球場、グラウンド・ゴルフの解禁 / Vol.23 新しい板橋区役所庁舎にギャラリースペースの実現 /
- Vol.24 西台地域の私道整備の実施 / Vol.25 若木通りの舗装事業の実現 /
- Vol.26 文部科学大臣へアール・ブリュット等の支援に関する要望書提出 /
- Vol.27 新しい中央図書館の説明会とワークショップ開催 /
- Vol.28 寺子屋授業の応援×板橋区グラウンド・ゴルフ協会 /
- Vol.29 ときわ台つ・つ・つ GARDEN / Vol.30 鯉のぼりプロジェクト / 等

今後とも、議会や地域での仕事について分かりやすい情報発信に努めます。より多くの方に日々の活動を知って頂くことで行政を身近に感じて頂けるように取り組みます。

スマホでアクセス!!



●山田 貴之プロフィール

1976年7月生まれ
 1983年 サンシティ聖母幼稚園卒園
 1989年 板橋区立緑小学校卒業
 1992年 板橋区立志村第四中学校卒業
 1995年 都立小石川高等学校卒業 (O47F)
 2000年 日本大学芸術学部卒業
 2002年 ワシントン州立大学 留学
 2003年 日本大学大学院芸術学研究所卒業
 美術館学芸員 (5年) 営業職 (3年)
 2011年4月 板橋区議会議員 初当選
 2014年5月 板橋区議会議員 2期目当選
 現在、妻と長男 (5歳) と長女 (3歳) と板橋区中台在住

区政に関する自由民主党議員団要望聴取会

区政に関する要望聴取会を開催し、約40の区内団体の皆さまにご出席を頂きました。板橋区との関わりが深い方々からのご意見やご要望は、区政の現状を省みる良い機会にもなります。

頂いたご要望は、会派としてしっかりと話し合いをし、また、区役所の所管課に対して指摘されたことについては確認や調査を行ってまいります。今月9月中には、

要望書としてまとめて、坂本たけし区長、区役所の幹部職員に提出をする予定です。

私は現在、企画総務委員会に所属しておりますので、契約や入札に関することについての多くのご要望を受けました。また、支援が必要なお子さんの為の幼稚園への助成制度についての考え、環境分野の助成制度に



おねがい

日々の活動はブログでも報告していますので是非ご覧ください!

関しての考えをヒアリングさせて頂きました。課題を解消、改善し、さらに良い板橋区にするために引き続き取り組みます。

中央図書館説明会とワークショップ

中台サンシティにて新中央図書館の説明会とワークショップを企画し、大勢の皆さまからの意見を伺うことができました。ご協力を頂いた皆さまに、改めて感謝を致します。ありがとうございました。

や公共的な資源を巻き込み活用するソフト計画を行っていくべきであるとか、図書館機能を十分に満たしながらも、ガラスウォールを隔てて世代が共有できる一体的な空間、移動図書館や見守りのあるしくみづくりの提案も頂きました。

中央図書館長とコミュニケーションデザイナーの加藤様に、ご足労を頂いて、実りある要望聴取が実現しました。引き続き、具体的に提案が生かされる整備になるように働きかけて参ります。

武雄市立図書館の視察



佐賀県武雄市図書館に伺い、住民に支持される図書館のヒミツを学びました。全国的にも武雄市の知名度を高めた、有名な公立図書館です。TSUTAYAを展開するカルチャーコンビニエンスクラブ(CCC)が委託事業者となり、民間の視点や感覚で住民満足度の高い図書館を実現しています。色々な報道がありますが、あらゆる数字を示



し、職員の方が実績を話して下さいました。年間のコストは下げながらも、365日年中無休、開館時間も充実しています。屋内に一歩足を踏み入れた瞬間に、わくわくする雰囲気が漂います。開館前に老若男女の利用者が並んでいる姿を見れば、どれほど支持されているか、一目瞭然でした。板橋区の図書館整備にも生かせる先事例を、驚きを持って勉強させて頂きました。生かして参ります。

議会活動報告

第1回定例会(2月)

予算総括質問(120分)をさせて頂き、板橋区に質問を行いました。今回は、教育と文化芸術振興をメインテーマにしました。予算総括質問では、区政の予算案に基づいて、関する考えや方針、予算規模等を明らかにし、公正、公平、効果的、効率的な行財政運営となるように質問をしていきます。以下、質問の大項目と冒頭一部分となります。

約9億円という板橋区独自の予算措置をして教育現場に電子黒板等のICT機器を設置してきました。区立全小学校の普通教室、特別支援学級の普通教室、723教室に723セットを導入している現状です。ICT機器のセットの主な内容は、電子黒板、実物投影機、電子黒板操作用パソコンとなっております。平成28年度は、中学校の全教室でも導入を開始し、全国においても公立校全教室に一齐に導入する事例は珍しいというところで、区民の皆さんの関心も極めて高いので、板橋区の導入に関する背景について伺います。

A. 教育委員会事務局次長

「ICT機器の導入の背景についてでございますが、いた

た授業改善が急務でありまして、そのためにはICT機器の整備や充実が重要でございます。本区におきまして、平成23年度にユニット型電子黒板を小・中学校に1台配備いたしました。全区の授業で活用できるよう、平成27年度から全小学校の全ての普通教室に電子黒板等のICT機器を導入し、魅力あふれる授業を実現していくこといたしました。」

Q. 山田貴之

「長野県上田市立の小学校では、学習障害、ディスレクシアの支援として、タブレット端末の導入が非常に成果を上げていますという話であります。新聞の記事によりますと、文部科学省の12年の調査では、学習障害が疑われる子どもは全体の4.5%、約50万人いらっしゃるということ、このディスレクシアというのは読み書きにおいての障害になりますが、文字が左右反転に見えたり、文字のある場所がわからなかつたりすると。ここにデジタル教科書を導入することで、今までテストですつと点数が悪かった子が80点をとれるようにまで授業についていけるこ

とができた、大変自信にもなつたということが記事として紹介をされています。板橋区もぜひこのICT化の中で導入をしていただきたく考えますけれども、いかがでしょうか。」

A. 教育委員会事務局次長

「学習障害支援についてのご質問でございます。現在、パソコン教室にあるデスクトップ型パソコンの更新に伴いまして、平成28年度には中学校全校、平成30年度は小学校全校にタブレット型パソコンを導入する予定でございます。タブレット型パソコンは、学習障害等の障害の状態や発達の段階等に応じて活用することにより、学習上の困難を改善・克服し、指導の効果を高めることができる有効なツールでございます。今後、各学校に導入されるタブレット型パソコンを、特別な支援を必要とする児童・生徒が効果的に活用することができるよう検討を進めてまいります。」

第2回定例会(5月)

企画総務委員会、まちづくり調査特別委員会(副委員長)に新たに所属しました。

本会議では、平成28年度の常任と特別委員会の割り当てをし、各委員長と副委員長の選出と承認を行いました。企画総務委員会委員とまちづくり調査特別委員会委員になりました。今後1年間、区議会の議題のうち、両委員会が審議されるべきものと判断されたものを専門に審議致します。

①教育ICTについて
②社会教育サービスの向上とICT
③緑と文化の輝く公園と施設づくり
④絵本のまちと絵本大使について
⑤東京2020アスリート雇用とボランティア育成
⑥アール・ブリュットに関する芸術支援について

Q. 山田貴之

「教育ICTについてであります。板橋区教育委員会では、比較的大きな予算、5年間で

基礎学力の向上の目標の一つとして掲げております。児童・生徒の基礎学力を向上させるためには、わかる授業に向け



山田貴之 活動報告ブログ

日々の活動はブログ、FB、ツイッター等で発信をしております。閲覧を頂き、ご意見を頂ければ幸いです。

和光市地域包括ケアシステムの視察(ブログより)

和光市に伺い、地域包括ケアシステムの取り組みについて視察をしました。和光市保健福祉部福祉政策課の阿部課長に、2時間近くノンストップでお話を伺いました。先進事例として評価が高いこともあり、他の自治体からも視察要望が高く、4自治体から有志の議員が多数参加しています。同市の東内京一部長の職能が高く、制度設計や体制作りに関わったことから、東内方式とも言われる和光市の地域包括ケアシステムです。(中略)人口8万人の和光市と55万人の板橋区では、人口規模以外でも様々な環境の違いはありますが、何らか取り入れられないものだろうかと感じます。世代間の負担に差があり、胴上げ→騎馬戦→肩車で支える変化の過程にあって、継続可能な地域包括ケアシステムの必要性を改めて痛感した今日でした。



羽田空港内のギャラリースペース(ブログより)

1964年東京オリンピック・パラリンピックを契機にしてどのように変わったか。交通インフラ整備や当時の大衆文化にスポットを当て、気軽に楽しめる展示がされていました。寄付付きの記念メダル、大会ポスターの絵葉書、実況を収めたソノシート、雑誌や新聞の掲載記事などから、当時の人々が大会に寄せていた期待感を想像できます。空港利用者をターゲットにした情報発信、板橋区の庁舎ギャラリーモールにも生かせそうです。第1期「未来をつなぐレガシー」～9月25日*会場は、国内線第2旅客ターミナル3階です。詳しくは、羽田空港のウェブサイトを参照ください。



東京ヴェルディのコーチング

緑小学校にプロサッカーチーム東京ヴェルディの皆さんが来て、寺子屋事業の子ども約50名に熱心にコーチをして下さいました。ヴェルディのチームカラーは緑ですから、ぜひ緑小に来て下さいという、セールストークが良かったのかどうか、快諾をして頂いて実現することができました。多くの皆様にご協力を頂きました。感謝申し上げます。



庁舎内ギャラリーモールの実現

美術館学芸員としての職歴を生かして、提案していただくが実現しています。

- ・区の文化施設の収蔵品の有効活用法として年間120万人が足を運ぶ区役所に展示。(倉庫にしまっただけで保管料がかかるばかりじゃもったいない)
- ・夏休み前に地域の文化施設

の良さを広め、足を運んでもらう。(文化・教育施設の利用を促進)。
 板橋区って、楽しそうだな、面白そうだな、子育てしやすそうだなというブランディング。(区民や職員の知られざる魅力の掘り起こし) 展示スペースでは、同世代の男性が昆虫の標本を指差して話を始めていました。博物館や美術館を新しく作らなくても、発想を変えればコストをかけずに文化振興はできる。これからも積極的に政策を提案していきます。

熊本地震で被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

義援金活動

東武東上線大山駅前にて自民党議員団、青年部、女性部が合同で熊本地震の義援金活動をしました。子どもたちも含めて、多くの方にご協力を頂きました。ありがとうございました。引き続き、支援をして参ります。



平成27年9月 関東・東北豪雨についての視察

同僚議員と共に平成27年9月関東・東北豪雨による被害状況やその後の対応を学びに視察に伺いました。

板橋区でもゲリラ豪雨によって、浸水被害や道路冠水などの被害を経験しています。また、区の北端に沿って荒川が流れている地理的な条件から視察の意義を感じ実施しました。

日光市では、記録的な豪雨になりました。道路落石や崩壊、中でも芹沢地区の6ヶ所では、土石流が発生をしました。最寄りの観測所では、最大時間雨量57mm/h、総雨量603mm。夜間の情報収集や避難指示の判断の難しさを教えて頂きました。常総市は、鬼怒川が氾濫し、



甚大な浸水被害がありました。決壊1、溢水7、漏水23、堤防・河岸洗掘31、その他合計97ヶ所。現在、堤防の強化のために工事が行われています。引き続き、地域の防災力を高めるために、議会活動を通じて全力で取り組んでいきます。

編集後記

サンシティのこども祭では緑小卒業生のOBOGで「スーパーボールすくい」を出店しました。子供たちが次々に水槽に浮かぶボールと真剣勝負。笑顔や歓声に楽しい気持ちになりました。たくさんの同級生と再会ができ、懐かしさも感じた出店。夏と秋のお祭、同窓会のつもりで出店をしてみませんか。待っていますよ、緑小の先輩後輩!



楽しい夏の思い出!!

山田貴之事務所

ホームページ ▶ <http://yamadatakayuki.net>



twitter



Facebook

Ameba Blog

ブログ、ツイッター、フェイスブックはホームページからアクセスできます。

皆さまのご意見・ご要望を是非お寄せください。

D棟→H棟
移転しました

〒174-0064 板橋区中台3-27-サンシティH棟 1608号室

TEL & FAX: 03-6906-4547 E-mail: desk.yamada@gaea.ocn.ne.jp